

「なぜ人はだまされるのか？」 ～潜入取材で見た詐欺・悪質 商法の手口と対策～」



6月6日（土）、消費者ネットおかやまと岡山県消費者団体連絡協議会共催、岡山県の後援で2026年度消費者月間講演会がオルガホールとオンライン配信にて開催され、88人（会場39名、オンライン49名）が参加しました。



▲龍田氏

岡山県消団連の近藤幸夫代表幹事の開会挨拶の後、岡山県消費生活センター所長龍田裕典さんから、令和7年度の相談状況の報告があり、相談件数全体は7,028件で前年比10%増、あらゆる年代で増加したこと、若者からの相談ではエステや副業などの増加が特徴的で、高齢者は化粧クリームやダイエットサプリなどが多かったことが報告されました。合わせて、減らない定期購入や光回線の契約などの事例と被害に会わないための注意点などが報告されました。

メイン講演では、マスコミ等でもおなじみの「詐欺・悪質商法に詳しいジャーナリスト」多田 文明氏による、悪質商法の勧誘現場やセミナー、詐欺電話などに自ら潜入した経験をもとに、実際のやり取りの音声やスマホ画面なども使いながらその手口を解説していただきました。

騙す側としては、目立つ広告で思い込みや誤認を誘う、読み落とすように利用者を誘導する、動画を見ただけで有料プランの契約とみなし請求をかける、など、人の心理や「そっと背中を押す“ナッジ理論”」などを巧みに悪用し、損をしたくない気持ちに付け込んだり、逆に人を安心させたり、「救い」の手を差し伸べたり、とさまざまな手を使ってくることを実例を交えて話されました。多田氏は出版物の他、ヤフーニュースやYoutubeなど多彩に発信を続けているので、そうした情報を得て常に知識を「アップデート」し、周囲への相談をいとわないこと、個人情報に流出を防ぐこと、自分を過信しないこと、などの心構えもお話いただきました。

アンケートでは、多くの方が高い評価をしていただき、「内容は怖くて深刻ですが、楽しく学ぶことができました」、「知識をアップデートしていくことの大切さを認識した」、「周囲の方にも伝えようと思います」などの感想をいただきました。



▲熱く語る多田氏